

故障かな?と思ったら

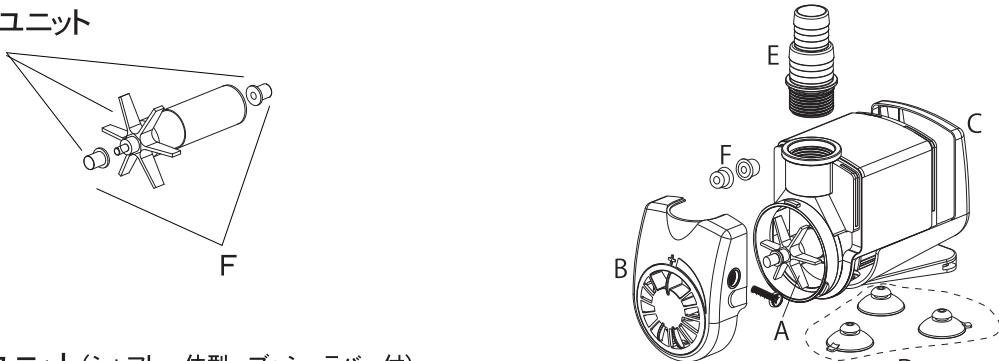
現象	原因	処置方法
異常音または水流が弱くなる	インペラ一部の空気残留	電源プラグを抜いてモーターを停止させ、また差し込んで始動の動作を3~4回繰り返す。
	インペラの汚れ、消耗、破損	汚れていたら清掃する。消耗、破損があれば交換する。
	吸水ホースの結合不全による空気混入	吸水側のホースとホースコネクターなどの接続部をしっかりと結合する。
	吸水部のつまり、ホース内の汚れ	定期的に点検し、ゴミ、汚れを取り除く。
	排水ホースがたるみすぎている	ホースの余分な部分を切り、たるみをなくす。
	揚程、クーラーなどの接続による過負荷	揚程（水をくみ上げる高さ）を低くする。他の器具は別系統で使用するなど、ポンプへの負荷を減らす。
	Oリングのよじれ、破損、劣化	Oリングを正しくセットする。破損、劣化している場合は交換する。
水漏れ	ホースの結合不全	ホースと吸水口・出水口をしっかりと結合する。
	インペラ室にゴミや異物が入っている	インペラ室内を清掃し、異物を取り除く。
作動しないまたはカタカタ音がする	水槽水面よりポンプ本体の位置が高い	水槽水面より低い場所に設置しなおす。
	ポンプの仕様 (Hz) 違い	使用地域に適した仕様のポンプを使用する。
	シャフトの破損、ブッシュラバーの付け忘れ、劣化	シャフト・ブッシュラバーを点検し、破損や劣化があれば交換する。

製品仕様

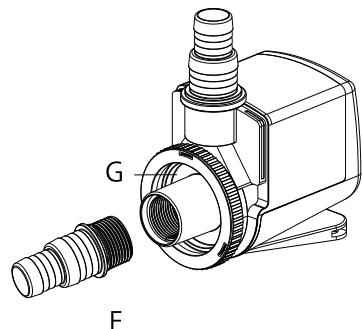
品名品目	観賞魚用電気ポンプ					
適用	淡水 / 海水両用・屋内専用					
機種名	NJ1700		NJ2300		NJ3000	
定格電圧	AC100V	AC100V	AC100V	AC100V	AC100V	AC100V
周波数	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
定格消費電力	37W	37W	43W	43W	50W	50W
流量 (可変式)	1300 ↓ 1800ℓ/h	1400 ↓ 1800ℓ/h	1500 ↓ 2100ℓ/h	1500 ↓ 2100ℓ/h	1800 ↓ 2700ℓ/h	1800 ↓ 2700ℓ/h
最大揚程	2.0m	2.05m	2.4m	2.4m	2.7m	2.7m
外径	(吸入・吐出とも)φ21.4mm、26.9mm					
本体サイズ	約幅69.5×奥行109×高さ142mm (突起部含む)					
コード長	約1.6m					
付属品	吸排水ホースコネクター×2、ケーシングキャップセット、キスゴム×3					
材質	ABS等					
原産国	イタリア					

交換パーツ 品番一覧

インペラユニット



インペラユニット(シャフト一体型・ブッシュラバー付)



	50Hz	60Hz
NJ1700	00.73.616	00.73.619
NJ2300	00.73.617	00.73.620
NJ3000	00.73.618	00.73.621

品名	NJ1700	NJ2300	NJ3000
A インペラユニット	左図参照		
B ポンプカバーセット (ビス付)	00.73.622	00.73.623	
C バックカバー (キスゴムホルダー付)	00.73.612		
D キスゴム (3個入)	00.73.608		
E 吸排水ホースコネクター	00.73.611		
F ブッシュラバー (2個入)	00.73.615		
G ケーシングキャップセット	00.73.624	00.73.625	

NEWA®

NEWA Jet®
NEWA Jet
NJ1700/2300/3000
水陸両用ポンプ

取扱説明書 / 保証書

このたびは、NEWA Jetをお買い上げいただき誠にありがとうございました。
お使いいただく前に、取扱説明書の警告・注意をよくお読みください。この説明書は必ず保管し、必要な時にお読みください。保証書は必ずご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保管してください。

販売元
神畠養魚株式会社 用品部
〒670-0073 兵庫県姫路市御立中3-3-20
【製品に関するお問い合わせ】
Tel.079-297-5420 Fax.079-293-6467
受付時間：土曜・日曜・祝日を除く平日午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス <http://www.kamihata.co.jp>

安全にお使いいただくために

- この製品は50Hzと60Hzで仕様が分かれています。お住まいの地域の周波数に合ったものをご使用ください。
- 安全にお使いいただくために、取扱説明書の警告・注意をよくお読みいただき、使用方法などの内容を十分に理解してからご使用ください。この説明書は必ず保管してください。
- 本製品には保証書がついています。保証書は必ずご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保管して下さい。
- 梱包など万全を期しておりますが、ご使用になる前に必ず破損など異状がないかをチェックしてください。破損などが見つかった場合はそのまま使用せず、お買い上げ店にお申し出ください。
- 初めてセットした時は、セット後30～60分後にポンプが正常に作動しているか、水漏れないかを確認して下さい。また、留守にする前にセットしないでください。
- 本製品は観賞魚用品です。その他の用途には使用しないでください。誤った使用方法や本来の目的以外の使用、勝手な改造、修繕などによる故障、その他の影響などにつきましては一切補償いたしかねます。
- 本製品は改良のため、予告なしに仕様、デザインを変更する場合がございます。予めご了承ください。

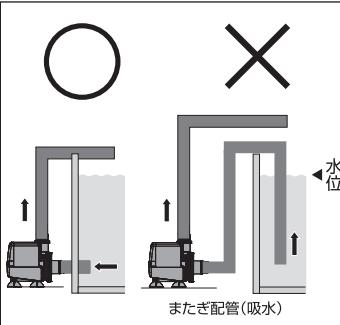
警告

- 生体の出し入れ・掃除・点検。移動などで水槽内に手を入れる時は、必ずすべての電源を抜いてください。(感電の恐れあり)
- 交流(AC)100V以外での電源使用はしないでください。(感電・発火の恐れあり)
- 電源プラグやコンセント部は濡らしたり。濡れた手で触らないでください。(感電・発火の恐れあり)
- 本体を改造して使用しないでください。(感電・発火の恐れあり)
- 電源プラグの刃の部分やコンセントの汚れやはこりは定期的に取り除いてください。(発火の恐れあり)
- 海水水槽で使用する場合は、電源プラグやコンセント部への塩だ

使用方法

1. 設置場所を決める。

- ・水中使用の場合
砂利や水草などを吸い込まない平らな場所を選んでください。
- ・陸上使用の場合
水槽水面より低い場所を選び、またぎ配管をせず、押し込み配管で設置してください。



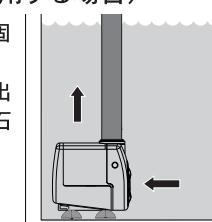
2. キスゴムを取り付ける

設置場所を決めた後、本体底部にキスゴム3個を取り付けます。

3. 本体を設置する（水中で使用する場合）

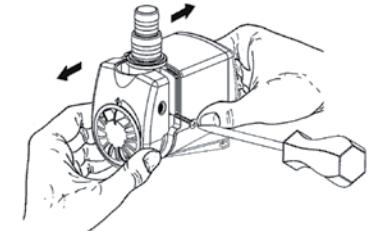
キスゴムを使用して、本体をしっかりと固定してください。

※設置する際、運転による振動や排出時の水の力によってポンプが水槽や岩石にぶつからないよう固定してください。



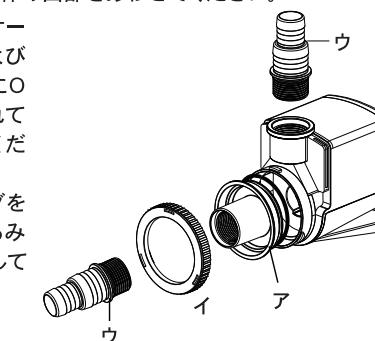
4. 本体を設置する（陸上で使用する場合）

プラスドライバーを用いてポンプカバー両脇の固定ビスを外し、ポンプカバーを取り外します。
※ポンプカバーを取り外す際、インペラを固定するラバーおよびシャフトが一緒に外れる場合がありますのでご注意ください。



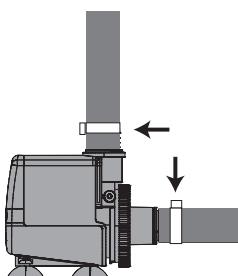
ケーシングキャップ(ア)を本体に取り付け、ケーシングリング(イ)でしっかりと固定した後、吸排水ホースコネクター(ウ)を取り付けます。ケーシングキャップを取り付ける際、ケーシングキャップの凸部と本体の凹部をあわせてください。

※取り付けの際、ケーシングキャップおよびホースコネクターにOリングがセットされていることをご確認ください。
※ケーシングリングをしっかりと締め、ゆるみがないことを確認してください。



ホースを吸水／排水口にそれぞれ取り付けます。

ホースの抜けや水漏れを防ぐため、ホースはしっかりと固定してください。市販のホースストラップやホースバンドの使用をおすすめいたします。

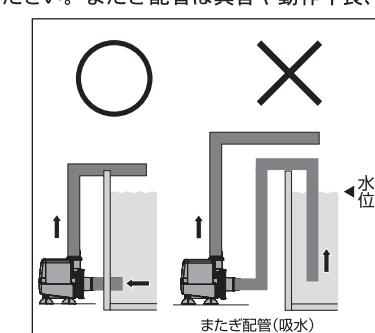


※ネジ式のホースバンドを開めすぎると、ホースコネクターが破損する場合がありますのでご注意ください。

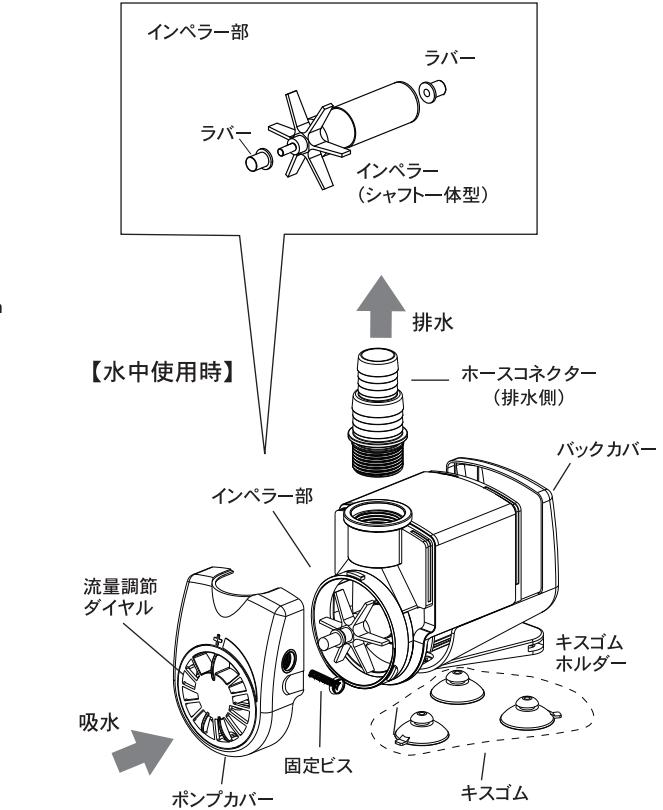
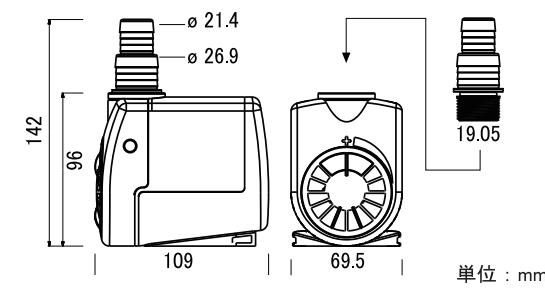
ポンプ本体を水槽水面よりも低い位置に設置し、付属のキスゴムで固定します。

※ポンプ本体内部に水が入っていない状態では決して電源を入れないでください。空運転による故障の原因になります。

※吸水側はまたぎ配管にせず、押し込み配管にしてスムーズに吸水できるようにしてください。またぎ配管は異音や動作不良、故障の原因となります。

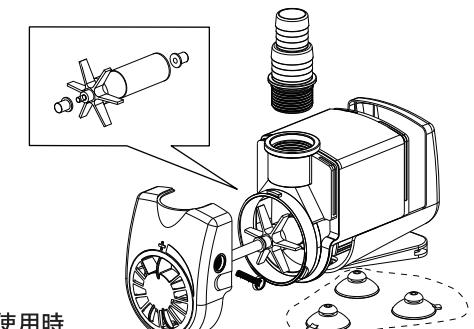


製品サイズ・各部の名称



日常の点検・お手入れ

下図のように各部を分解して、インペラ等のパーツを定期的に洗浄してください。洗浄の際は洗剤や熱湯などは使用しないでください。
洗浄後、元の状態に組み立てる際は、Oリングやインペラ、ラバー等が正しくセットされていることを確認してください。

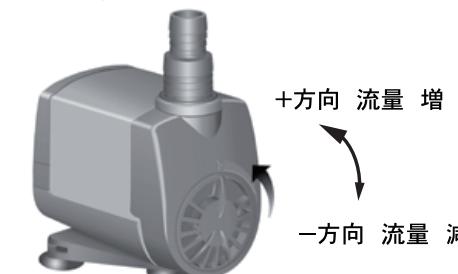


5. ポンプの始動

呼び水をおこない飼育水がポンプ本体に導かれたことを確認した後、各部品の取り付け部を再点検してください。水漏れがないことを確認してから電源を入れます。各部に水圧がかかるため、運転開始後も30～60分時間をおいて、水漏れの異常がないか再度点検をおこなってください。

6. 流量の調整

水中で使用する場合、流量調節ダイヤルを回して流量を調節することができます。



注意

長期間使用しない時や運転を止める時は、本体を水槽やホース接続から取り外し、右図のように本体内部や配管、インペラユニットなどを水道水できれいに洗浄してください。汚れの固着やサビなどが発生し、破損につながる恐れがあります。

